

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①加谷珪一著『新富裕層の研究』祥伝社 (231頁, 新書判)</p> <p>本書によれば、近年これまでにないタイプの富裕層が登場しているという。こうした人々は不動産や投資ファンド、上場株式で財をなすわけではない。ユニークなアイデアを武器にビジネスを立ち上げ、短期間で売却、大きな富を得る。その登場の背景には、ネットの質的変化によるビジネス・インフラの整備が急速に進んだことがある。ひとたびアイデアがひらめくと、あっという間に形にする。本書は、全体からすればまだまだ少数派だが、今後こうしたコンパクトな「新富裕層」の割合が着実に増えていくと予測する。また、人工知能(AI)の発達により、設備投資が経済をけん引するなどマクロ経済の仕組みに影響を与え、資本主義のシステムが変更されると予言している。</p>	<p>③出井康博著『ルポ ニッポン絶望工場』講談社 (189頁, 新書判)</p> <p>最近、都会のコンビニエンスストアや飲食チェーン店では、外国人の店員が当たり前のように働いている。彼らの多くは「実習生」や「留学生」として来日した人たちだ。しかし、現場を取材した結果、その実態は短期の出稼ぎが目的だと指摘する。「単純労働」を目的とした入国は認められていないため、偽って就労している構図だ。コンビニの弁当製造や宅配便の仕分け、新聞配達など日本人が敬遠する仕事は、もはや低賃金・重労働に耐えて働く外国人抜きでは成り立たなくなっている。たとえ貧しい国に生まれ育った外国人であろうと、日本人にとって嫌な仕事は彼らもやりたくない。人手不足で単純労働者が必要ならば、正々堂々と議論すべき時期に来ていると提唱する。</p>
<p>②平賀充記著『非正規って言うな!』クロスメディア・マーケティング (214頁, 四六判)</p> <p>「非正規」といってもパートやアルバイトなど呼称によってそのイメージや働き方も様々。あえて非正規というネガティブな呼称でくくる必要があるのか、と本書は問題提起する。著者はアルバイト求人メディアの編集長として約30年、この多様な労働市場に携わってきた。パートやアルバイトで働く1,981万人の労働者のうち、「正規社員の仕事がない」ため働いている「不本意非正規」は約17%の341万人にすぎず、残りの1,640万人は、ポジティブにその働き方を選択している人たちだと強調する。一億総活躍社会を実現するためにもこうした働き方は欠かせない。アルバイト職場の最新事情や採用成功へのメソッド、女性や高齢者の労働市場への参加などの未来予想図も提示。</p>	<p>④沢井実著『日本の技能形成』名古屋大学出版会 (iv+237頁, A5判)</p> <p>本書では、主として1930年代から50年代半ばにかけてのわが国の製造現場における技能形成をめぐる諸問題を取り上げている。可視化しにくい近代日本の熟練形成・技能形成というブラックボックスを開ける試みともいえ、①大企業から中小企業まで規模を問わず熟練形成が課題とされた②OJTとOFF-JTの望ましい組み合わせが正式に模索された③義務教育を終えた勤労青少年に対する企業内養成の仕組みが本格的に展開された一ことなどに焦点を当てる。さらに現場で技能形成に直接責任を持つ職長に対する教育や労働者に対する工場の外での社会教育などにも目を向ける。こうした分析の結果、現代日本の製造業における技能形成をめぐる原風景が浮かび上がる。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2016年11—12月労働図書館受け入れ)

- ⑤村上由美子著『武器としての人口減社会』光文社(203頁, 新書判)
- ⑥山岡美由紀著『多様な働き方を実現する役割等級人事制度』日本法令(231頁, A5判)
- ⑦澤田幹他著『ヒト・仕事・職場のマネジメント』ミネルヴァ書房(viii+226頁, A5判)
- ⑧増田明利著『貧困のハローワーク』彩図社(222頁, A6判)
- ⑨広島弁護士会労働法制委員会編『ケーススタディ労働事件の実務』ぎょうせい(x+219頁, A5判)
- ⑩S. ウォルビー編著『知識経済をジェンダー化する』ミネルヴァ書房(xvi+382頁, A5判)
- ⑪日経情報ストラテジー編『絶対失敗しないワークスタイル変革』日経BP社(145頁, B5判)
- ⑫コミュニティシンクタンクあうるず編『ソーシャルファーム』創森社(226頁, A5判)
- ⑬飯島裕子著『ルポ 貧困女子』岩波書店(iv+227頁, 新書判)
- ⑭加藤泰子著『高齢者退職後生活の質的創造』東信堂(x+310頁, A5判)

労働図書館 <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書118,275冊、洋書30,519冊、和洋の製本雑誌25,332冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間: 9:30 ~ 17:00
 休館日: 土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日~1月4日)、その他
 電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659
 利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

